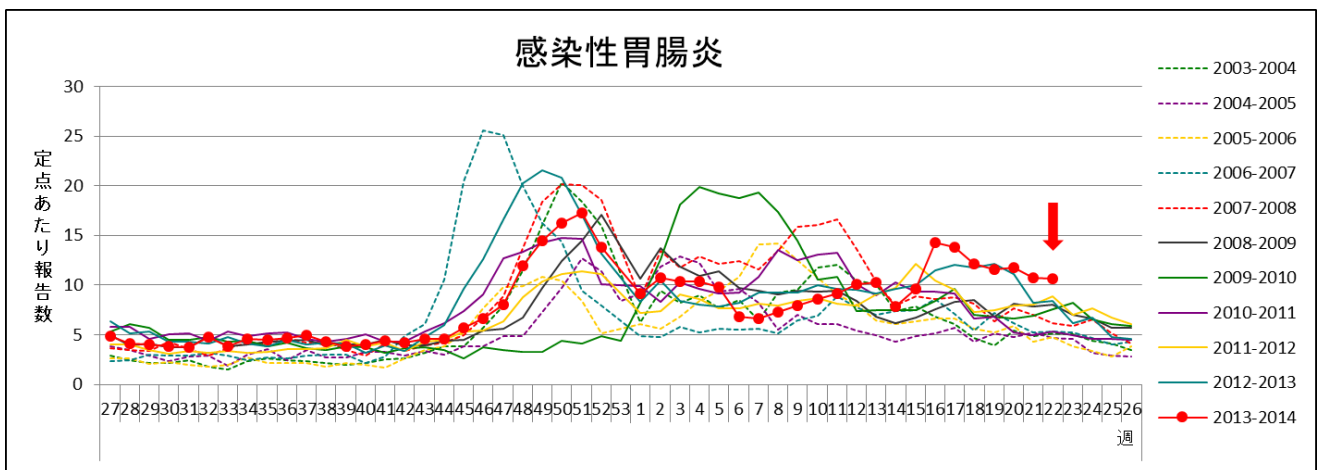


# 感染性胃腸炎情報 2014 年 第 22 週 ( 5 月 26 日 ~ 6 月 1 日 )

○感染性胃腸炎は、県全体で 574 名（定点あたり 10.72 → 10.63 人）の発生がありました（54 定点医療機関報告）。

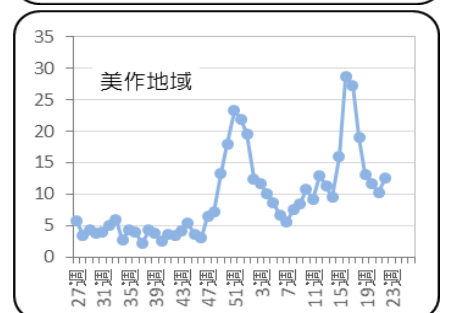
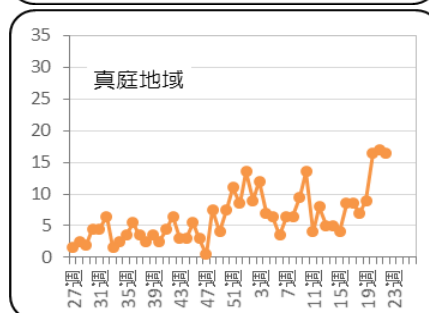
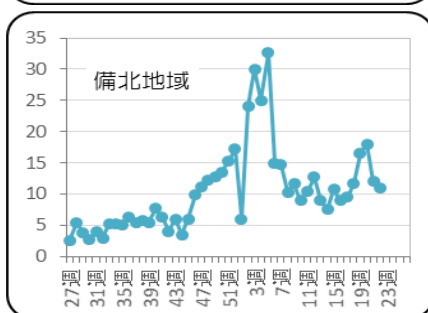
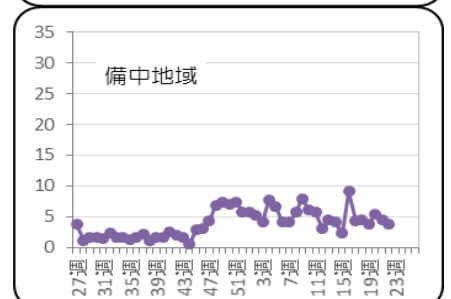
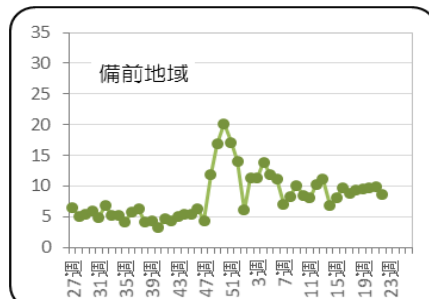
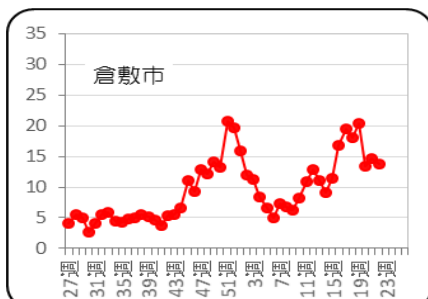
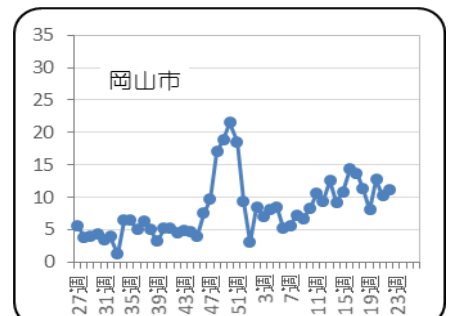
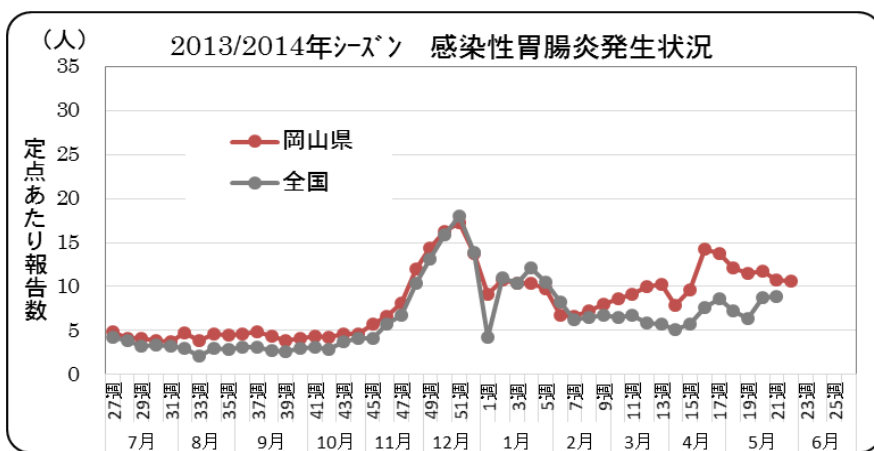


※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27 週～翌年 26 週でグラフを作成しています。

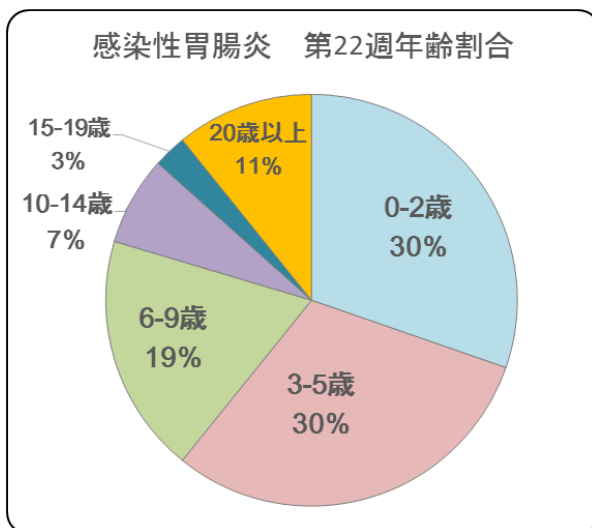
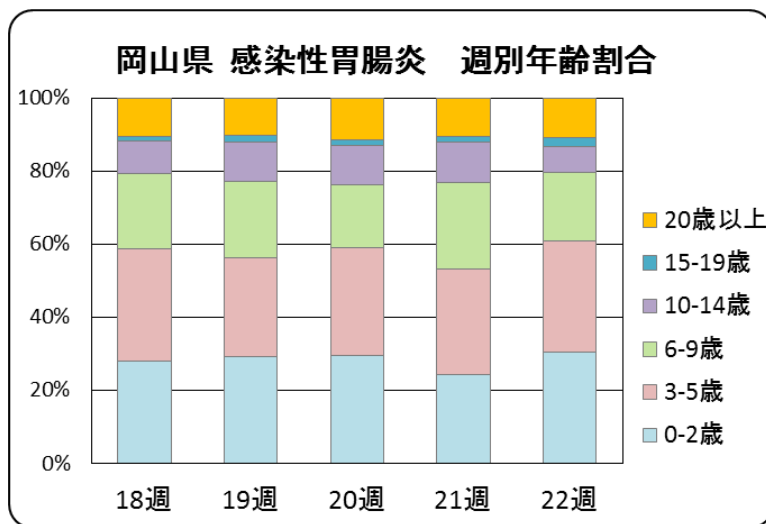
**感染性胃腸炎**は、県全体で 574 名（定点あたり 10.72 → 10.63 人）の発生があり、前週とほぼ同数でしたが、過去 10 年の同時期と比較して、もっとも患者数が多い状態で推移しています。

例年、梅雨から夏にかけての高温多湿になる時期は、食中毒菌による感染性胃腸炎も増加します。トイレの後や食事、調理の前には、特にしっかりと石けんと流水で手を洗うなど、感染予防に努めてください。食中毒の原因となる菌には、増殖しても味やにおいあまり変化を起こさないものもあります。味やにおいを過信するのは止めましょう。

[食中毒に関する情報（厚生労働省）](#)



◆地域別・年齢別発生状況



地域別では、真庭地域（16.50人）、倉敷市（13.82人）、美作地域（12.67人）の順で定点あたり報告数が多くなりました。倉敷市では、4週連続で発生レベル3となっています。年齢別割合では、0-2歳及び3-5歳がそれぞれ30%と乳幼児が全体の60%を占めています。

◎感染性胃腸炎が多く発生しています。

石けんと流水でしっかりと手を洗うなど、感染予防と拡大防止に努めましょう。患者の嘔吐物や下痢便を処理する際には、自分が感染しないように、使い捨ての上着やマスク、手袋を着用しましょう。また、塩素系漂白剤などを使った消毒も併せて行いましょう。

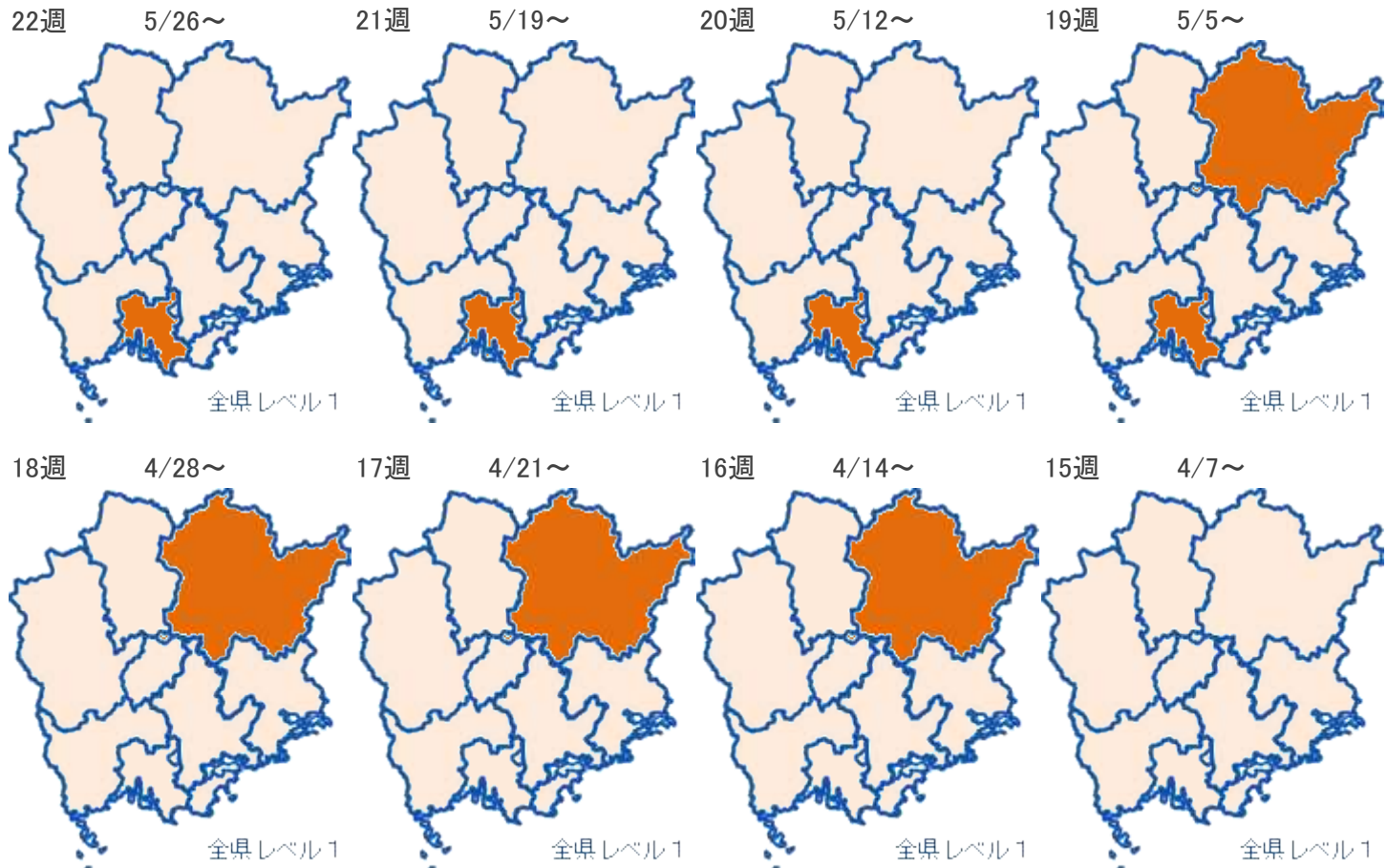
通常重症化することはありませんが、小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。



# 岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2014年 22週

2014年6月3日

17:29:38



## 感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。